



第21期
広報誌

まらめき

2024 Vol.3

C O N T E N T S

自治会長挨拶 / 事務局長挨拶 / 自治会総会 / 私の好きな散歩道 / 修学旅行
心に残る話 / 課題研究中間報告 / クラブ活動報告 / 私の楽しみ / 編集後記



自治会長
西村 俊輔

自治会長挨拶

初秋の候、皆様におかれましてはますますご健勝の段お慶び申し上げます。

早いもので私たち第21期生は2年目を迎えました。初年度は手探りで学ばばかりでしたが、本年度は初年度の経験を活かして、本校での学びの成果を、できる限り市民社会にも共有させていただき、少しでもお役に立ちたいと思っております。

その最大の機会が、10月27日(日)に開催される第20回学園祭と来年2月に予定されている課題研究発表会です。本年度の学園祭は、多くの来場者に来ていただき、学生とともに楽しんでいただく開かれた学園祭を目指します。是非、皆様のご家族、ご友人を含む多くの方々にご来場いただきたいと存じます。また、並行して課題研究も精力的に進めなければなりません。発表会が2年間の成果を披露する、卒業に値する有意義な場となるよう、励ましあいながら協力して頑張りましょう。



事務局長
小林 玲人

事務局長挨拶

第21期生広報誌「きらめき」第3号の発行おめでとうございます。

また日頃より市民大学の運営にご協力いただき、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルスの制約もほとんど無くなり、大学運営も計画通りに進んでおります。これもひとえに、学生の皆様のご協力によるものと改めて感謝申し上げます。

二学期は学園祭などの自治会行事やスポーツ大会など、学生間の交流が深まるイベントがあります。ぜひ多くの学生と交流し、楽しい思い出をつくっていただければと思います。

授業においても新たな講師をお招きするなどカリキュラム編成の改善を図っているところです。

事務局一同、学生の皆様が充実した学園生活を送れるよう努めてまいりますので、今後とも、ご支援、ご協力いただきますようお願いいたします。

学園NEWS

令和6年度第21期生自治会総会

第21期生自治会総会が4月10日、きらめき市民大学講堂にて開催されました。

岩寄副会長の司会の元、今村副会長より、自治会会員数80名、出席者73名で、総会の成立と開会が宣言されました。

議長に暮らしと健康学部の伊藤さんが選任され、事業報告、

決算報告、事業計画(案)、予算(案)、新任役員(案)、新委員会委員(案)、規約改定(案)の全ての議案が、滞りなく無事可決・承認されました。西村会長からは、今年度は修学旅行を始め、課題研究、学園祭、スポーツ大会、自主企画、卒業記念パーティー等、目白押しに計画されていますが、学生相互の親睦を図り、特に開かれた学園祭に行きたいとの挨拶がありました。



続いて小林新事務局長より、自治会総会が遺漏なく終了した事への祝辞の挨拶を賜り、総会は無事終了しました。

続いて小林新事務局長より、自治会総会が遺漏なく終了した事への祝辞の挨拶を賜り、総会は無事終了しました。

暮らしと健康学部 栗原 二郎



小鳥や花、四季を楽しむ「ひきのみち」

私の好きな散歩道は、山辺の四季の変化に富んだ高坂ニュータウン内の「ひきのみち」を通して松風公園と千年谷公園を歩くことです。草花や花木、果樹を配した歩行者専用道路で安全快適。道は緩やかな上下を



繰り返し、景観の良い「山の辺橋」を渡り周囲の風景も堪能します。公園内では四季に応じて鶯、^{ひばり}雲雀、百舌、ヒヨドリ、ツグミ等の鳥の囀りを聞き、^{さるすべり}桜、金欄銀欄、蓮、紫陽花、百日紅の花を觀賞し、新緑、紅葉と積雪の風景を楽しみます。少し足を



伸ばせば高坂の街と筑波山を眺望できる。ほぼ毎日歩く健康長寿への散歩道です。

国際・文化学部
井上 正夫

ワンちゃんとの出会い

弁慶くん、マロンちゃん、ひなちゃん、ペコちゃん etc. 私が朝歩いていると遭遇するワンちゃんたちの名前です。岩鼻運動公園のお隣の雑木林を歩くのが私の



日課で、ワンちゃん連れて歩いている人がたくさんいらっしゃいます。人なつっこいワンちゃんが多く、名前聞いたり年齢聞いたり、そうやって飼い主さんとおしゃべりするのも朝の散歩の楽しみです。話していると息子同志が同級生だったことがわかって「ええ〜」なんてこともしばしば。話



していると1万歩もあまり苦になりません。ワンちゃんと飼い主さんに会いに今日も行ってきました！

歴史・郷土学部
出口 寿子

山あり川あり…

私の住んでいる所は唐子です。桜並木で有名な都幾川桜堤や嵐山溪谷、標高 179 メートルの低い山もウォーキングには最



適です。自宅から長閑な田園風景の中を歩き、学校橋を渡るとバーベキュー場、土手に沿って遊歩道を歩きます。春には桜と菜の花のコラボがとても見事です。秋には紅葉の嵐山溪谷の河川敷を鳥

の囀り、小川のせせらぎを聞きながら歩いて行くと途中「飛び石」があったりして心が和みます。大平山からの眺望もまた気持ちが良いです。初夏には一面のラベンダー畑も見ることができます。自宅から約 10km のコースですが、とても気に入っています。

くらしと健康学部 篠田 清美



花に囲まれた散歩道

子供達元気な声を聞きながら新明小横を通り、松本町一丁目緑地へ。ここではバラのトンネルがお出迎え。バー



ジンロードを歩いている妄想に浸りつつトンネルを抜け、両側をツツジの花が飾る遊歩道を歩きます。福祉センター脇にあるフジ棚の下で花を眺めて一息。人家の庭先に咲く黄色と白のモッコウバラの香りを堪能し、図書館に到着。新聞と雑誌で見聞を広め下沼公園に。春は桜の下でランチを楽しみます。ここでは睡蓮やピンクのフジの花も咲きます。私の散歩コースは四季折々、様々な花たちが迎えてくれます。見学は



無料。距離は短いですが新たな発見もあり、幸せなひと時を過ごすことができます。

くらしと健康学部
山口 のり子

初夏の会津に修学旅行

5月14日(火) 2 学年恒例の修学旅行です。

中型バス3台に分乗し、ほぼ定刻に出発。日頃の行いが良いのか昨日の悪天候が嘘のよう、順調な滑り出しです。一般道から東北自動車道の羽生ICに向けて走り出す。車中では皆さん雑談に花が咲き楽しそう。途中からビンゴゲームや幹事さんお手製のゲームなど、豪華景品付きで盛り上がりました。



白川ICで高速道路を降り、最初の見学地、塔



のへつりに到着。塔の形が立ち並ぶ断崖という意味で「塔のへつり」と名付けられ、国の



天然記念物に指定されています。断崖まで吊り橋も架けら



れ、渡って見学する者、吊り橋上で記念撮影する者、思い思いに楽しみました。



次の見学地は「大

内宿」。人里離れた山中にかやぶき家屋が30軒以上も道の両側に連なり、江戸時代そのままの風情です。

散策前に腹ごしらえ。名物の1本ネギのそばと天ぷらが本日のメニュー。1本ネギ



を箸代わりに食べるが、一口食べて普通の箸に持ち替えビールと共にいただく。昼食後大内宿を散策。突き当たりの小高い丘に上がり振り返るとかやぶき屋根が整然と続き、まるで江戸時代にタイムスリップした感覚に襲われます。



今日最後の見学地は会津若松のシンボル鶴ヶ城です。現在の城は昭和40年に再建されて内

部は五層、郷土博物館(資料館)になっています。天守閣に上がると市街地や磐梯山が見え圧巻。眼下には赤瓦がまぶしく光っていました。城の周囲は公園になっていて無料で利用できるそうです。「こんな場所が自宅近くに有れば良いなあ」と思いながら鶴ヶ城を後にしました。

くらしと健康学部
森田 典夫



楽しい思い出、たくさん作りました。

1日目の観光地巡りを終えたバスは、無事宿泊地・東山温泉「東鳳」へ到着。ドライバーさん、ガイドさん、お疲れさまでした！

ロビーで備え付けの飲料を美味しく頂き、宿のスタッフから施設の説明や注意事項を聞きました。(単独入浴はダメよ、との事)

西村委員長・役員の方達



これは学園祭の再演です。歴史・郷土の演目は「恋の片道切符」と「ヤングマン」で大発汗!! 国際・文化は「懐

かしの青春歌謡メドレー」。歌詞配布のサービスも有り



皆んなで大合唱。清水・小林ペアのジルバまで飛び出し、大盛り上がりでした。



定刻に始まった宴会では心のこもった料理にしばし舌鼓!

は迷わず宴会場の「芙蓉」を下見、舞台の広さに安堵した様子。部屋で旅装を解くと、一目散に大浴場へ向かいました。夕映えの露天風呂は最高でしたね!



やがて森田・西村(潤)・大澤さんの進行でアトラク



最後は謎のジャンケン大会で締め…。各学部長と自治会長か

ら集めた寄付金のジャンケンによる争奪戦! 結局誰が勝ったのやら? でも誰かが独り占めする事なく、そのお金は「うまい棒」



ションに。最初はくらしと健康の「パプリカ」とハッピー体操「ジュダス」。



に変身した模様。楽しい時間はアッと言う間

です。夜も更け各学部とも部屋に戻り、二次会で更に盛り上がったそうです。

国際・文化学部
田口 基代



翌日、さわやかな五月晴れの中、バスは飯盛山に向かって出発。途中、車窓から見た残雪の飯豊連峰がキラキラ輝いてとても綺麗でした。

白虎隊の悲劇で知られる飯盛山では、「白虎隊十九士の墓」や唯一の生き残りである「飯沼貞吉の墓」、「戸ノ口堰洞穴」など



を見学。鶴ヶ城が落城したと勘違いし、若くして散った少年武士たちに想いを馳せると何とも

やりきれない悲しい気持ちになりました。

少し山を下り、国指定重要文化財の「さざえ堂」を拝観。お堂の中に入ると



昇る時と降りる時は全く違う経路を通る



不思議な二重らせん構造の大変珍しい造りで、一見の価値あります。



次に向かったのは磐梯山にある五色沼。湖畔で参加者全員の



記念写真を撮って、しばし湖畔を散策。



エメラルドグリーンの毘沙門沼が新緑に映えて本当にすがすがしい景色でした。



猪苗代湖近くの地ビール館で昼食後、隣のガラス工芸館で買い物。



感染症の知識と経験、さらに未来への歩みを紹介している施設でした。



初めてのきらめき修学旅行は、思い出に残る大満足の旅でした。

歴史・郷土学部 古川 亜典奈

私の大切な一冊

子どもの頃、「星の王子さま」という本を初めて読んだとき、内容よりも、作者の“ヘタウマな挿絵”が面白い



サン・テグジュペリ「星の王子さま」より

なと思いました。特に、王子さまと出会った時に「心で見なくちゃ物事はよく見えないんだよ」という印象的な言葉を残していくキツネの絵は、耳が長くとんがっていて、キツネには思えないへんな生き物に描かれています。数年前に高坂動物公園でフェネックというアフリカの砂漠に棲むキツネを見て、アッと驚きました。「星の王子さま」の挿絵のキツネにそっくりだったからです。調べてみると、サンテグジュペリは、モロッコに赴任していた

時に、このフェネックを飼っていたことを知りました。今でも、色々と新しい発見がある不思議な大人の童話です。

国際・文化学部 竹花 宏子



「牧野富太郎」と父

小学生時代に出合った一冊の本が今も忘れられない父との思い出です。それは NHKドラマ「らんまん」のモデルになった「牧野富太郎」という本でした。その中に「雑草という草はない」「どの草花もそこで咲く意味がある」「草木に愛を持つことによって人間愛を養う事が出来る」これらのフレーズが心に刺さったものの、曖昧模糊とした想いを抱き父に尋ねました。僧侶である父は言葉の由来を諭してくれました。植物にもそれぞれ名前が有り、その地に根付く意味が有るし、認められるべき存在である。草木を愛する心が有れば、切傷し

たり枯らしたりはしない。思いやりが芽生え慈悲の心を育み、人を愛する心に繋がると。

くらしと健康学部
新井 清美



ヘクソカズラ



ヤブガラシ

谷口先生の思い出

小学3年生の時、私の担任は、背が高く、痩せメガネの女性の先生だった。

ある日、先生は宿題を忘れた生徒に激怒し、一列に並ばせた。私は右端に並び、先生は左端から順番に問いただした。「宿題を忘れたのは、あんたが悪いのか？宿題を出した先生が悪いのか？」と。皆んな「僕が悪い」、「うちゃーが悪い」と非を認めていった。ところが、私の3人手前の山岡は、私が全く予期しない返事をしたのだ。「先生が悪い」。私は、心の中で「よくぞ言った」と叫んだ。と、次の瞬間、「バッシーン」。

先生は無言で彼の頬っぺたを張り倒したのだ。そして次の生徒からは、私を含め全員が「僕が悪いです」、「うちゃーが悪いです」と普段使ったことのない様な丁寧な言葉で答えたのでした。

歴史・郷土学部 小川 忠



絵本の力、読み聞かせの力

「俺この本大好きで、小さい頃によく読んでもらったんだ。」とその高校生は友達につぶやき、愛おしそうに絵本をそっと手に取りました。昼下がりの図書館の児童室での出来事です。絵本の題名は「いたずらきかんしゃちゅうちゅう」。アメリカの作家、バートンの代表作で、小さな機関車の冒険をリズムカルに描いた迫力あるモノトーンの絵本です。豊かな言葉に包まれた心地良い体験が、その絵本を手にした瞬間に子どもの頃の楽しい思い出や気持ちをよみがえらせてくれたのでしょう。絵本の力、読み聞かせの力を改めて感じさせられたひと時でした。

歴史・郷土学部 中田 逸子



作・絵：バージニア・リー・バートン
訳：村岡花子 出版社：福音館書店

くらしと健康学部 A 班 大澤 栄

健康寿命を延ばす

私たちは「健康寿命を延ばす」をテーマに課題研究を進めています。

一昔前は「人生80年時代」到来と言われ、現在は「人生100年時代」が現実的になりつつあります。令和元年の日本人の平均寿命は、男性81.41歳、女性87.45歳です。一方、健康寿命（健康上問題なく日常生活が送れる期間）は、男性72.68歳、女性75.38歳で、この



差（男性約9年、女性約12年）を縮めることが重要な課題となっています。

私たちはこの差を縮めるための方法を①食事（栄養）②運動 ③社会参加の三方向からアプローチすることとしました。そして、詳しい対策を検討するため「きらめき市民大学」の学生全員にアンケート調査をお願いしました。アンケートの結果や独自調査から皆様方に「健康寿命を延ばす」方法を具体的に提案していきたいと思っています。どうぞご期待ください。



くらしと健康学部 B 班 大野 広子

比企のそば

以前課題研究で「埼玉のうどん」がありました。そこで比企地区にどんな美味しいそば屋があるのか、また、そばの効用・種類を調査したいと選択しました。まず3グループに分け、1班はそば栽培農家を訪問、2班は講師を招き講義実習、3班は効能・健康について中間報告をまとめました。また各班ごとに比企の様々なそば屋を訪問し、調査表にまとめ



めています。特にユニークなのは、メン

バーの土地に実際に種まきし、育成中ということです。開花時期には全員で写真を撮り、そば談義に花が咲きました。私達は互いを尊重しつつも自分の意見もきちんと伝える。そんなチームがどんどん進歩していくさまは、まるで全員で育てているそばの成長と同じ様に感じます。今後そば店訪問も佳境に入り、また育てたそばを収穫・挽き・調理実習するのも楽しみです。

国際・文化学部 A 班 松本 善弘

鎌倉街道の調査・研究

調査研究を始める前(3月10日)、全員で毛呂山町歴史民族資料館見学後、出雲伊波比神社「春の子供の流鏝馬」を楽しみました。更に鎌倉街道の雰囲気が多く残り2022年11月に国指定史跡文化財に指定された、毛呂山町歴史民族資料館近辺を地元ボランティアガイドの案内で説明を受けました。そしてメンバーの鎌倉街道への認識が一致した所から活動をスタートしました。①東松山付近に



残る源氏ゆかりの地を訪ねる。②日蓮聖人が佐渡に流罪になった時の足跡を訪ねる。③鎌倉街道沿いに残る名所・旧跡を訪ねる。3グループに分け調査・研究を開始しました。①グループは鴻巣市の源経基屋敷跡、源頼朝の伯父で木曾義仲の父でもある源義賢屋敷跡など巡って情報収集しています。②グループは寺巡りで地元の妙昌寺を皮切りに坂戸の休臺寺、川越の妙養寺、児玉町の玉蓮寺を回り証拠や伝承を集めています。③グループもエンジンが掛かり東へ西へ活動しています。

国際・文化学部 B 班 大澤 義行

東松山市とアジアン・エスニック料理

最初にテーマを決める時、色々な意見がでる中で重なる部分があった食文化について検討した結果、東松山市のアジアン・エスニック料理を調査し、選定店の訪問調査を行い国際交流に役立つ研究を目指すことにしました。

東松山市の人口は日本人が減少し外国人が増加しています。特にここ数



年ベトナム人の増加が顕著です。B班の中でグループを分け、それぞれが中心となり、選定店の訪問調査を行い皆で協議検討しました。訪問と会話を重ねるうちに店の料理、スタッフに親しみを覚え楽しい研究となりました。7月10日に調理実習を行い、実習にはベトナム料理店のオーナー、料理長にも参加して頂き、皆で講習を受けながら調理・試食ができ、貴重な時間を過ごせました。7月3日までに選定した店舗の訪問調査を終了し、現在、提出期限に向けて原稿素案の細部などを確認中です。

歴史・郷土学部 A 班 西村 潤

歴史・郷土の宝探し

20期までの歴史・郷土学部の諸先輩が成し遂げた課題研究は、東松山市に関係するものをテーマに調査・研究が行われ、その成果が42冊の報告書となり、市のホームページでも公開されています。

21期歴史・郷土学部A班は、先輩方々の研究成果等を参考に、課題研究について班内で協議した結果、「歴史・郷土の宝探し」がテーマとなり



ました。A班内を「歴史グループ」と「郷土グループ」に分け、歴史グループについては、まだ知られていない、あるいは知っているけれども更に調べればもっと奥深いものが見えてくるという切り口で「比企西国三十三礼所めぐりの宝」を、郷土グループは東松山の住みよさを切り口に「我が街の宝」を探すことになり、各グループ共に只今調査・研究に奮闘しております。



歴史・郷土学部 B 班 根津 貞雄

「ムサシトミヨ」飼育について

この課題研究テーマの選定に当たっては、今迄の歴史一辺倒からの脱却を図ろうとするみんなの思いが強くあったような気がします。埼玉県絶滅危惧種の魚「ムサシトミヨ」の水槽飼育に挑戦し、難しい事だらけの日々が始まりました。飼育にあたっては、



水槽の準備、予算の事などたくさん問題にぶつかりました。個性豊かなメンバーに恵まれ、小さな「トミヨさん」に魅せられ今日まで来ました。今では巢に卵が出来、稚魚が孵り元気に泳いでいます。ここまで来られたのは、熊谷の保護センターや、県内のムサシトミヨに関わる方々の温かいご支援を得られた事、メンバーの日々たゆまぬ努力、真剣さ、そして、いつも笑いがあるお陰です。



鎌倉街道巡りクラブ

祭りに合わせて鎌倉入り

私達は2023年6月に群馬県安中駅前からスタートし、月1回のペースで活動し現在埼玉県鳩山町まで歩き繋いで来ました。印象に残った場所としては児玉町の玉蓮寺に日蓮聖人像があり、佐渡流罪の際に宿泊した事を知りました。また街道沿いには源氏ゆかりの地が多く、源義賢館跡や笛吹峠など鎌倉街道遺構が多く残っています。歩いて鎌倉入りするのがベストですが、待ちきれず4月14日春祭りに合わせ、メンバーと武者行列のパレードを見学。その後市内を散策し昼食を食べ、お土産



を買い込み春の鎌倉を満喫しました。心残りは時間切れで「静の舞」が見学出来なかった事です。

代表 松本 善弘



歴史探訪倶楽部

温故知新

歴史を楽しんじゃえ！

2023年6月から始めた歴史を訪ねる旅も今回で22回を数えます！

史跡巡りだけでなく、代表が所属している団体や博物館、大学などの講演会で知識を深め、民俗行事を楽

しみ、グルメでお腹をいっぱい！楽しく幸せなひとときです。3月の『美術館の春まつり』は、学芸員の方から目から鱗の「鑑賞方法」を聞き、絵がますます大好きになりました。今後は、『脚折雨乞を体感』『秩父SLパレオエクスプレスと三峯神社の旅』『鳶屋重三郎と浮世絵を訪ねる』『大田さざえ堂』『吉田龍勢祭り』などを計画しています。

代表 小林 晴美



パソコンクラブ

教えたり、教えられたり…

当クラブは、令和5年5月に発足、ワード・エクセル・パワーポイント・無料の画像編集ソフト(ギンプ)を使い、色々な技法を学んできました。当初はパソコンの基本操作や文字の打ち方から始め、徐々に難しい操作を覚えていきました。ワードは、画像の挿入・地図の作成・図形描写・段組の仕方、エクセルで表形式の一覧表やグラフ作成・関数の使い方、ギンプではパイプやゴーヤの花の画像編集で悪戦苦闘の連続です。パワーポイントでスライドの作成・動画の挿入・



アニメーションの設定等、毎月クラブ員同士で教えあったりしながら、楽しく学んでいます。

栗原 二郎



農園クラブ

学園祭で芋掘り体験を計画

農園クラブでは岩鼻運動公園近くの農地を借りて、玉ねぎ・じゃがいも・枝豆・大根などの定番野菜を育てています。みんなであれこれ話しながらの植付け、山のように取れる収穫作業はそりゃもう楽しいものですよ。収穫した野菜を使っの芋煮会もワイワイ賑やか。また個人エリアでは思いを込めて好みの作物を育てることができ、これも楽しみ



の一つです。今年は初めてのチャレンジとして、体育館横のスペースを借りサツマイモを育て、学園祭での芋掘り体験を計画しています。皆さん家族を連れて来てくださいね！

猪 浩志

きらめき21写真クラブ

写真展 & 撮影会

写真の素晴らしさを広く知って頂くために、4月24・25日の両日、新入生歓迎写真展を開催しました。今はスマホでも綺麗に撮れます。自分の得意なジャンル(季節の美しい風景や花、昆虫や鳥・ペット、祭りや家族のポートレートなど)それぞれの作品を楽しく、ユーモラスに展示しました。見に来て頂いた皆様にサービスでお出しした抹茶も大好評でした。



6月には熊谷市にある能護寺に紫陽花の撮影会に行ってきました。参加メンバーは7名でしたが、色とりどりに咲く紫陽花の素晴らしい写真が撮れました。

代表 清水 宏一



ウクレレクラブ

目指すは武道館、単独ライブ!?

アロ〜ハ! 我々ウクレレクラブは今年4月メンバー7名で発足したばかりです。毎月第1・第3木曜日、15:00から研修室4で練習をしています。ほとんど初心者ですが教本を見ながら頑張ってます。



ウクレレはハワイを代表する楽器、誰もが知っている「アロハオエ」。私達はハワイアンソングだけでなく、童謡唱歌から、ポップス、歌謡曲まで幅広くチャレンジしたいと思います。会員の年齢も幅広く、60〜80才代まで取り揃えております。いつの日か皆様に御披露できるよう、頑張

りたいと思います。

只今、部員募集中! 興味のある方は是非、一緒にやりましょう。

代表 伊達 穂積



ウォーキングクラブ

比企の名所旧跡を歩いて探訪

ウォーキングクラブは月に1回、主に東松山を中心に比企地区を歩いています。



一例を紹介すると、昭和10年に菅谷駅から武蔵嵐山駅と改名した駅を出発し、史跡の博物館裏で畠山氏の像と対面。蝶の里公園では木漏れ陽の中ウグイスとキツツキの声援を受けながら歩みを進め、嵐山渓谷バーベキュー場で一休み。渓谷の飛び石を渡り対岸の展望台、与謝野晶子の歌碑を目指します。「比企の溪」歌碑には「槻の川 赤柄の傘を さす松の 立ち並びたる 山のしのめ」とありました。案内板には写真が残され、

晶子が訪れた時代の面影が見られ、楽しいウォーキングとなりました。

島田 多賀子



電車でお遍路クラブ

お遍路はクセになる!?

電車でお遍路クラブの活動を開始したのは、きらめき市民大学に入学して間もない風薫る昨年5月でした。秩父札所1番を目指し、東上線と秩父鉄道の電車を乗り継ぎ四萬部寺を目指し2番、3番、4番と廻りました。札所めぐりに加えて秩父のグルメも楽しみました。秩父名物の蕎麦、古民家のカフェ、小鹿野町名物 昭和レトロ満載の「安田屋」のわらじかつ。

今年5月には34番札所、水潜寺で結願しました。振り返れば楽しいことばかり。秋風が吹き始めるころにはまたお遍路で秩父路を。お遍路が癖になる方も…。

代表 伊藤 健司



やっぱり好きなんだなあ～

学生時代チアリーダーと新体操をやっていました。社会人になってからはジャズダンスを習ったこともあります。結婚後は公民館のリズム体操クラブにも。また、主人の母の影響で民踊、新舞踊の教室にも通いました。令和4年ハッピー体操の養成講座を受講し、今はサポーターとして活動しています。サポーター仲間の人々がきらめき5期生の時、義母から民踊を教えてもらい学園祭で披露したそうです。不思議な縁を感じました。

和であれ洋であれ、曲(リズム)に合わせて身体

を動かす事が本当に好きなんだなあと思えます。今後も自身の健康のため、2つの体操と踊りを続けていきたいと思えます。

くらしと健康学部 稲垣 清子



きらめきで版画に再会

5月22日の授業で版画家 朝香元晴先生の講義をお聞きし、30年以上前、中央公民館で版画をやっていたことを思い出しました。最初は12月のお酉様を彫りました。初めてにしては上出来でしたが、摺りはもう少し頑張ればよかったですね。その後小川町の伝統工芸館でアメリカ人のリチャード・フレイビン先生に教えて頂きました。松山とは違い、埼玉各地からプロのような方々が来ていて、大変勉強になりました。



5年ほどでやめてしまいましたが、まだ目が健在なうちに、またチャレンジしたいと思います。とりあえず日本橋の浅香先生の教室に見学に行ってきます。

歴史・郷土学部 笛木 喜代子

大蛇を見た—大蛇伝説パート2

昨年の21期広報紙に高坂の正法寺にまつわる大蛇伝説について投稿した。その後、日本各地に多くの大蛇伝説があることを知った。近隣では、本庄市長泉寺に大蛇伝説があり、正法寺と同じく坂上田村麻呂が退治したとされている。また狭山市諏訪神社の大蛇伝説、坂戸市の「蛇口神」はジャコウさまとして祀られ、さらに大谷の宗悟寺の「蛇苦止観音」は夫、源頼家を失った若狭の局の苦しみを鎮めるために作られたとされている。大蛇、蛇が神様や観音様の化身として祀られている。写真①は宗悟寺の蛇苦止観音、②は山梨県勝沼の大善寺「藤切り祭」の大蛇である。こうした伝承の地を訪れることを楽しみとしている。

歴史・郷土学部 岡崎 邦彦



温泉、そして神社・仏閣巡り

私の楽しみは、気の合った友人たちと行く、年に3・4回の温泉旅行です。行き先は国内の有名な温泉地。1泊のときは近距離の宿を選び、温泉に入り美味しい夕食を堪能してゆっくりします。また休みが長く取れるときは少し遠距離に足を延ばし、3泊してその旅先の観光名所や旧跡を観て廻ります。



特に神社・仏閣に行き御朱印を頂いてくるのが私の目的でもあり、御朱印帳は必携です。目標は日本中の500ヵ所

を巡る事です。日頃の喧騒を忘れて心穏やかにし、心身をリフレッシュして公私共に頑張る事が出来る温泉旅行を、これからもできる限り多く続けて行きたいです。

国際・文化学部 大木 孝明



編集後記

広報誌「きらめき」も第3号発行に至り、委員会のメンバーも大分手際が良くなって来ました。2名の新規委員も加わり企画会議でも色々な案が出て、楽しい紙面作りが出来たと思います。今回のメイン企画は修学旅行ですが、写真をたくさん使い楽しかった思い出が蘇ります。これからも学生の皆様のご協力の下、きらめき市民大学の活動をお伝えして行こうと思っています。